

2025 年度 東京大学

【 講 評 】

従来と変わらない出題形式であった。

1 (A)

例年と変わらず、文章の一部を切り取り、単語も多少変えているため、明確な論理の流れが読み取り難い文の要約になっている。要約は、東大入試の英語の特徴的な問題と思われているが、この問題で時間をかけると他の問題にしわ寄せがあるので、満点解答を目指さず、反復されている内容を見抜き、それをまとめるというやり方で、8割狙いの解答を作るのがよい。

1 (B)

読みやすい文章なので、(ア)は満点解答を狙いたい。(イ)の語順整序も、昨年より語数が少なく解答しやすい。

2 (A)

昨年同様、自由作文は書きやすいテーマであった。

2 (B)

和文英訳も、理解しやすい日本語の英訳であり、語彙もそれほど高くないので解答しやすかったのではないか。

3

リスニング問題。問題A～Cまでの3題があり、1題が対話文となっている。リスニング問題が開始される前に、設問を理解しておくことが高得点のカギである。満点を目指す場合には、細かな数値もメモ死ながら聞くべきだが、内容の趣旨が分かっていれば8割は取れる問題である。

4 (A)

正誤問題は2019年から連続して出題されている。昨年度は、文脈を理解しないと指摘できない間違いもあったが、今年は、基本的な文法・語法が問われていたので、正解率は高いのではないか。

4 (B)

下線部和訳の問題。問われている文の構造は難しくないが、community, insider, alertといった単語の意味を、文脈に合わせた訳語にする必要がある問題であった。

5

文章は読みやすく、それほど難しい問はない。下線部の意味を問う問題は、下線部中の単語やイディオムに注目するよりは、前後の文脈を根拠にして、解答を出す方が、正解に至りやすい。

【 解 答 ・ 解 説 】

1 (A)

[解答]

科学が進歩し、社会で受け入れられていた死の定義が揺らぐと、死の判定は複雑であいまいになったが、その進歩の過程で生が操作され、生の本質に関わる様々な問題を生む。(79字)

1 (B)

[解答]

(ア) (1) b (2) e (3) f (4) c (d) a

(イ) **study of the ways speech sounds are produced**

[解説]

1 (A)

要約表現は、反復的表現（置き換え、具体例）に注目し、内容をつかむことが重要である。

問題文の流れをまとめると次のようにになる。（＊同じ内容には同じ番号をついている。）

（第1段落）死の宣告は①科学が、②死についての文化、宗教、法の理解と矛盾した場合に、
③危険を伴うことがある

（第2段落）①人工呼吸器や他の先進医療により、②脳が停止した人物が、心肺機能を維持することが可能
になり、③死の定義を複雑にした。

②生きているように見える人物が脳死であると認めざるを得ない→③混乱を生む

（第3段落）脳死を明確に定義しようとする国際的努力

→ガイドラインができたことは進歩だが、③依然として診断は複雑であいまい

（第4段落）将来さらに一層の問題

①脳科学と技術の進歩によって、さらに③死の定義が曖昧になる

そして、①脳科学と技術の進歩は、④生も変える

④私たちの思考、感情、人格さえも変える

（第5段落）①②科学が社会より速い速度で進歩した時に生じる⑤根本的問題点

①②④豚が殺された数時間後に脳の細胞の活動を回復させる

→⑤最も根本的な問題の1つを示唆

=⑤生きているとは何か？

科学で生の境界が新たな形で明らかになるだろうが、それにより、⑤さらに多くの問題を生む

これをまとめると

①科学が進歩し、社会で受け入れられていた死の定義が揺らぐと、③死の判定は複雑であいまいになったが、進歩の過程で④生を操作するため、⑤生の本質に関わる様々な問題を生む。

といった要約になる。

1 (B)

(ア) 空所に入れるべき文を選択肢の中から選ぶ問題。

1. 1 They should never be equated, however.

1 しかし、それらは、決して同じものとみなさるべきではない。」

答え b : It is extremely common for people to take “language” and “communication” to be the same thing.

「言語とコミュニケーションが同じものだと人々が考えることは極めてよくあることだ。」

選択肢 b を選ぶと、1 の後の文の They が language と communication を指すという説明もつくり、内容的にも、They should never be equated, however. と逆接のつながりとしても妥当な文である。

2. All animals communicate, but only humans have language in the strict sense of the term.

2 . It's just that when we consider the basic facts, these metaphorical extensions of the term “language” should be ignored, because they will only encourage confusion.

「全ての動物はコミュニケーションをとるが、厳密な意味での言語を持っているのは人間だけだ。」

2 . 基本的事実を検討する際には、「言語」という用語をこのように比喩的に拡大したものは無視されるべきだということを言っているだけである。なぜなら、そのような表現は、困難を招くだけだからだ。」

答え e : That doesn't mean I disapprove of talk about the language of music, flowers, art, or architecture

「だからといって、私は音楽の、花の、芸術の、あるいは、建築の言語について語ることを否定しているわけではない。」

2 に e を入れることで、2 の後の文の these metaphorical extensions of the term “language” (「言語」という用語をこのように比喩的に拡大したもの) が、the language of music, flowers, art, or architecture を指すという説明がつく。

3. The sentence doesn't just pop up involuntarily in your mouth when everyone does actually seem to be leaving. 3 .

「その文は、皆が実際に去ろうとしているように思える時に、口から自然と出てくるだけではない。3 」

答え f : You can consider the sentence and grasp its meaning whether it's true right now or not.

「それが、今、本当であろうと、なかろうと、その文について検討し、その意味を理解することができる。」

前文の when everyone does actually seem to be leaving (「皆が実際に去ろうとしているように思える」) の does は、「対比を強調」する助動詞である。選択肢 f の中の whether it's true right now or not

（「意味それが本当であろうと、なかろうと」）との対比を強調したものと考えることができる。また、前文の The sentence just pop up involuntarily in your mouth と選択肢 f の consider the sentence and grasp its meaning も「無意識」 \Leftrightarrow 「考察、理解」の対比の関係にある。

- 4 But they produce these calls involuntarily when a predator is noticed, and they never use the calls for anything else. 4.

「しかし、彼ら（人間以外の動物）は、捕食者に気づくと無意識にこれらの鳴き声を発し、決して、他の目的以外では使用しない。4。」

答え c : It is nothing like what you, as a speaker of a human language, can do.

「それは、人間が言語を話す時にできることとは全く違う。」

4の前の文にある they produce these calls involuntarily when a predator is noticed, and they never use the calls for anything else complexity が、人間の言語の特徴との対比的内容になっているので、選択肢 c がよい。

5. 5. Complaining about having lost one, for example, or asking whether it's time to go out and buy some.

「5。それを1つ失くしたことについて不満を言ったり、いくつか買いに行く時期かどうか尋ねたりといったように。」

答え a : Humans can use a word like sock in other ways than by running to the bedroom to fetch one in order to get a snack as a reward.

「人間はソックスと言ったような語を、お菓子をご褒美にもらうために、ソックスをベッドルームまで取りに走っていくといったこと以外の使い方で、用いることができる。」

5の後の、Complaining about having lost one, for example, or asking whether it's time to go out and buy some.がセンテンスの構造になっていないので、5の表現についての具体例や追加の表現であるはずである。また、one や some が、5の中にある「可算名詞」の反復をさけるための代名詞である。この2つの説明がつく選択肢は、選択肢 a である。one や some が、選択肢 a の中にある sock の反復をさけるためのもの (one sock, some socks) であり、Complaining～ or asking～は、選択肢 a の中にある in other ways～の具体例である。

(イ) 与えられた語を並べ替えて、空所を埋めるのに適した表現を完成させる問題。

Thus the subject matter for linguists extends from the (イ) the study of how meaningful sentences are used in context to convey implicit meaning.

与えられた語 : are/ of the/ produced/ sounds/ speech/ study/ to/ ways

① extends from A to B 「A から B に及ぶ」

② 与えられた語の中に接続詞、関係詞、疑問詞がないが、are という動詞があるので、接続詞 that

か関係詞が省略されている。→ ways (+関係詞の省略) sounds are produced となる。
①と②に気づけば、～extends from the study of the ways sounds are produced to the study of～という表現が出来上がる。あとは残っている speech をどこに入れるべきかを考えればよい。
→ ～extends from the study of the ways speech sounds are produced to the study of～となる。



2 (A)

[解答]

Not expressing your opinion about what others say does not necessarily mean that you agree with them. Silence can signify various emotions and attitudes, such as fear, refusal, anger, and disagreement. You may remain silent for fear that expressing your honest opinion could make others angry or uncomfortable. In such cases, intentionally keeping silent can be a way to convey emotions and attitudes that you can't express in words.(69 語)

2 (B)

[解答]

Even those who do question this situation find it difficult to change the politics controlled by people in power. That is why those without any land or house work desperately to get it even if it takes decades to pay for it.
[別解]

Even if they do have doubts, they believe it difficult to change the situation where those in power control politics. That is why those people who don't own land or a house work frantically trying to obtain it even if it takes decades to pay off the loan for it.

[解説]

2 (A)

「意見を言わないということは同意することを意味する」という主張についてどう考えるかを、理由を添えて 60~80 語の英語で述べる問題。

自分の考えと理由が書かれていれば設問の条件を満たしていることになる。60~80 語といったように語数も少ないので、**自分の考え方**→**理由 (抽象的)**→**理由 (具体化・具体例)**という流れで端的にまとめるといいが、字数に余裕があれば、譲歩を加えたり、結論を加えたりしてもよいだろう。たとえば、上の解答例を例にとると、

Not expressing your opinion about what others say does not necessarily mean that you agree with them.

自分の考え方

Silence can signify various emotions and attitudes, such as fear, refusal, anger, and disagreement.

理由 (抽象的)

You may remain silent for fear that expressing your honest opinion could make others angry or uncomfortable.

理由 (具体的に)

In such cases, intentionally keeping silent can be a way to convey emotions and attitudes that you can't express in words.

結論

という流れになっている。

2 (B)

「たとえ疑問に思っていたとしても、権力を持つものが動かしている政治を変えることは難しいと捕らえ

ており、だからこそ、土地や家を持っていない人々は、がむしゃらに働き、支払いに何十年とかかっても手にしようと試みる。」を英訳する問題。

- 「たとえ疑問に思ったとしても」：主語は、前の主語の「誰も～ない」 no one/ not anyone で述べている「人」であるが、それを指す代名詞としては、男女どちらでも表せる they を用いるとよい。(本来 they は複数の名詞を指すが、男女両方ありうる単数名詞を代名詞で指す場合は、they を用いるのは一般的な用法) →Even if they～
あるいは、Even those who have doubts～「疑問に思う人でさえ」などとしてもいいだろう。
- 「～を変えることは難しいと捉えており」：find/ believe/ think it difficult to change～/ perceive it as difficult to change～といったような表現を使うとよい。
- 「権力を持っているものが動かしている政治を変える」：change the politics controlled by those in power や、the situation where/ in which those in power control politics などの表現が考えられる。
- 「だからこそ～」：「だからこそ」は、前で述べられたことが生む結果を強調する表現であるが、それ表す表現としては That is why～が適している。
- 「がむしゃらに働く」：work hard でもよいが、work desperately、work frantically などの方が「必死な様子」が伝わる表現である。
- 「支払いに何十年もかかる」：「～に時の長さがかかる」は it takes 時の長さ to V～を用いるとよい。「支払いに」は、to pay for ～や to pay off the loan for～などを使うとよい。

3 リスニング問題

[解答]

- (A) (6) a (7) e (8) b (9) a (10) c
- (B) (11) d (12) c (13) a (14) b (15) e
- (C) (16) d (17) a (18) b (19) d (20) c

[解説]省略



4 (A)

[解答]

- (21) (a) (22) (b) (23) (b) (24) (c) (25) (c)

4 (B)

[解答]

- (ア) 「そんなこと言ってはいけない」と、晩に焚火の周りに座っているある人物が、その部族のお気に入りの語り手に突然叫ぶ姿が思い浮かぶ。
- (イ) 彼らは言葉には出さないが「わかった」と思い、彼らの間には絆ができる。このような一握の「内輪の理解者」が行ったことは、その後のどの世代であれ、鋭敏な聞き手なら行うことなのである。
- (ウ) 危険な獣が巧みに罠で捕られ、殺される様子についてのわくわくする話は、実は、残忍な指導者を排除することについてお話であるといったようなことが、一部の聞き手にはわかる。

[解説]

4 (A)

(21) (a) : to account to them as the mechanism → to account for them as the mechanism
account for A as B 「A を B として説明する」

(22) (b) : ~the field of operational gaming, which games are utilized for goal-oriented purposes~
→ ~the field of operational gaming, where games are utilized for goal-oriented purposes~
関係詞節内に、名詞に位置が空いていないので、関係代名詞 which を関係副詞 where や、前置詞 + 関係代名詞 in which に変える。

(23) (b) : ~to make playing more demanded or interested
→ ~to make playing more demanding or interesting
make+O+C なので、demanded と interested を playing の様子を表す形容詞 demanding (「要求のきつい、困難な」) と interesting (「興味を引く、面白い」) に変える。

(24) (c) : They make available people the wisdom of~

→ They make available to people the wisdom of~

意味をなす英文にするには、They(S) make(V) available to people (C) the wisdom of~(O) (「それらによって、~の知恵が人々に利用できるものになる」) とするしかない。

(25) (c) : ~trying to pick up them

→ ~trying to pick them up

V+O+副詞 という表現は、O が話題の焦点となる 新情報 や 対比情報 の場合に V+副詞+O という入れ替えが生じるが、O が 旧情報 の場合は、V+O+副詞 と言う語順が維持される。pick O up もこのパターンであり、them は 旧情報 ので、pick them up という語順が正しい。

4 (B)

(ア) "You can't say that!" I imagine someone sitting around an evening fire suddenly shouting to the community's favorite storyteller. を和訳する問題。

- I imagine **someone sitting** ~ **suddenly shouting** ~ : I imagine + [意味上の主語] + [Ving] 「～が…している姿を想像する、～が…する姿が思い浮かぶ」
- the community : 「地域社会」や「共同体」は訳語として文脈に合わない。第二段落に clan 「一族、部族」という表現があるので、この community は一族、部族の集団を表している。

(イ) They silently "get it" and a bond is now formed between them. These few "insiders" have done what alert audiences would do through all succeeding generations. を和訳する問題。

- silently "get it" : 通常 get it は会話の中で発して「わかるよ、なるほど」を表す表現だが、この場合は言葉にせずに、心の中で(silently)「わかるよ」という言葉を発しているという様子を表すために、会話発言で用いるクオーテーションマークを使っている。
- "insiders" : クオーテーションマークを使っているのは、本来の insider とは違う意味で使われているからである。通常、insider は「集団内にいるもの」、「集団内の情報に通じている者」であるが、問題文では、「言葉の内にある意味を理解しているという辯で結ばれた人々」を意味している。後の、hidden inside what is being said is another message or implication (「言われていることの内側には、別のメッセージや意味が隠されている」) という表現や、insiders との対比表現として the apparent audience (「表面的な意味を聞き取る人」) が使われていることからも、insiders は「言葉の内側の意味を理解している人々」であることがわかる。訳語としては、本来との意味も活かしつつ「内輪の理解者」とした。
- alert audiences : alert は「警戒した」という意味もあるが、「言葉の裏の意味に気づく力のある、頭の鋭い」という意味であろう。
- all succeeding generations : この succeeding は「成功している」ではなく「それに続く」の意味である。

(ウ) The exciting tale of how the dangerous beast was skillfully trapped and killed is really — as some listeners figure out — a story about ridding themselves of their vicious leader. を和訳する問題。

- as some listeners figure out : as S V(=思考・認知・告示を表す動詞)は、「そのようなことを、SV～するが、SVするように」という意味である。figure out～は「～を理解する」という意味。some+複数名詞は、複数名詞があまり多くないことが明白なら「何人かの～、いくつかの～」と訳してよいが、数の多さが不明の時は、「一部の～」と訳すのがよい。したがって、～, as some listeners figure out,～は「一部の聞き手が理解するように、～」という意味になるが、「～と言ったようなことが、一部の聞き手にはわかる」と訳してもいいだろう。

(A) complained

(B) ラマダーンの間に飢えている人々に食べ物を与えるための献金をする余裕がない場合は、代わりに、自分ができる範囲で、慈善活動を行うべきなのである。

(C) 筆者はラマダーンが人生の最も幸福な時間だと思い断食を続けてきたため、水を飲み断食を断念することと、自分が大事にしてきた伝統を失われると感じ、罪悪感を抱いたから。

(D) (26)e (27)a (28)b (29)c (30)e (31)d (32)b

[解説]

(A) I have never () about fasting.に本文にある動詞を適切な形に変えていれることで、本文の I have never had an issue with fasting.を言い換えた文にする問題。

have an issue with～という表現を知っていれば、解答は容易になるが、知らないても解ける問題である。問題文では、I have never had an issue with fasting. I love Ramadan.と言っている。I love Ramadan.と言っているので、I have never had an issue with fasting.は「私は、断食のことを否定的にとらえたことは決していない。」といったような意味のはずである。したがって、have an issue with fastingは、「断食を否定するような言動」である。断食を否定する行為については、第5段落で、For the first time in my history of Ramadans, I complained.（「私の長年のラマダーン中で始めて、私は不満を言った。」）とある。したがって、空所には complained が入る。なお、have an issue with～には「～に関して問題を抱えている、～に不満である」という意味がある。

(B) 下線部(B) If you cannot afford to do so, you should instead perform any acts of charity within your capability.を so の内容を明らかにして和訳する問題。

○do so は、前文の make a donation that will feed a hungry person during the holy month（「その聖なる月（＝ラマダーン）の間に空腹の人に食べ物を与える献金をする」）を指す表現。

○cannot afford to V～「～する（金銭的）余裕がない」

○instead「そうではなく、その代わりに」

○within your capability「自分の能力の範囲内で、自分ができる範囲で」

(C) 下線部(C) The next morning the water I drank tasted like poison.で筆者が“like poison”と表現した理由を、それ以前のラマダーンとの関係をふまえて説明する問題。

下線部の直後では、It felt so wrong to satisfy my thirsty during the daylight hours.と言っている。つまり、昼間に水を飲むことで罪悪感を抱いたのである。罪悪感を抱いた様子を「毒のような味がした」と言っているのである。また、その次の Ramadan is something I strongly associate with the happiest times of my life, so I felt like a tradition was lost.（ラマダーンは、私の人生の最も幸福な時間と強く関係しているものなので、伝統が失われるよう感じられた。）という文で、罪悪感を抱いた理由を、それ以前の筆者とラマダーンとの関係で述べながら説明している。この2文を中心に解答をまとめる。

(D) 問いに対する解答を選ぶ問題。

(26) 本文中の observe の語義に最も近い選択肢を選ぶ問題。

[選択肢] a) He often observed that the more wealth he had, the more miserable he felt.

「富を手にすればするほど、ますます惨めに感じていると気づくことがよくあった。」

b) Mary observed a growing intensity in the rain falling outside the window.

「メアリーは、窓の外で、雨の激しさが増しているのに気づいた。」

c) Observe how strictly people obey the rules around here.

「ここの人々がルールを厳密に守っているかを監視したまえ。」

d) The school told me to observe how she spoke to her students in the classroom

「学校側は、彼女が教室で生徒に話しかける様子を観察するようにと私に告げた。」

e) You have to observe the local customs so that you do not make people uncomfortable.

「人々が不快にならないように地元の習慣に従わなければならない。」

observe には、「①～を観察する・監視する、②(観察の結果)～と気づく・述べる、③(法、習慣)を守る・(法、習慣)に従う、④(祝日など)を祝う」などがある。本文では、「断食を行う」という流れなので、③意味である。この意味で observe が使われているのは選択肢 e である。

(27) fasting against the odds I had been born with の意味に最も近い選択肢を選ぶ問題。

[選択肢] a) fasting despite my birthplace 「私の出生地にも関わらず断食すること」

b) fasting in spite of my medical conditions 「私の病状にも関わらず断食すること」

c) fasting in the face of my family 「私の家族の目の前で断食すること」

d) fasting while committing no sin 「罪を全く犯すことなく断食すること」

e) fasting without any chance of success 「成功の見込みなしに断食すること」

odds の意味を知つていれば解釈は楽だが、下線部の位置に注目すると意味が推測できる。 I knew that by fasting against the odds I had been born with, I'd totally get into heaven～といったように、by fasting against the odds I had been born with という副詞句が、I'd totally get into heaven～よりも前に置かれているので、by fasting ~ with という副詞句は、旧情報であることがわかる。 odds の意味が分からなくても「私が持つて生まれた the odds に逆らって断食する」は、この段落の前半で述べられている「脳性まひを患っていた私が断食した」という内容を表していることは明らかである。したがつて、選択肢 b が正解である。なお、odds には「(成功の妨げとなる) 困難」という意味がある。

(28) 空所に入れる表現を選ぶ問題。

My 28 Ramadan came in the form of a ten-day road trip~.

[選択肢] a) funniest 「最も面白い」

b) most challenging 「最も困難な」

c) most favorite 「最もお気に入りの」

d) most shameless 「最も恥知らずな」

e) smartest 「最も賢い」

この文を含む段落（第 5 段落）にある、For the first time in my history of Ramadans, I complained. I was hot, thirsty, and tired of bigotry.（「私の長年のラマダーンの経験で初めて、私は不満を述べた。暑いし、喉が乾くし、偏見にうんざりだった。」）という表現から、この年のラマダーンが筆者にとって辛いものであったことがわかる。したがって、選択肢 b が正解である。

(29) my shaking got the best of me の意味に最も近い選択肢を選ぶ問題。

- [選択肢] a) I took advantage of my shaking 「私は、私の震えを利用した」
b) I was surprised at my shaking 「私は、私の震えに驚いた」
c) my shaking overwhelmed me 「私の震えは私を打ちのめした」
d) my shaking stopped 「私の震えは止まった」
e) my shaking transformed me into the best version of myself

「私の震えによって、私の最も良い面が出た」

my shaking とは、脳性まひの症状である震えであることは、直前の文に書かれている。そして、下線部の次の文で、By noon, I no longer had the ability to tweet, and by the time I broke my fast at 8:30 p.m., I could barely breathe. 「正午までには、言葉も発せなくなり、夜の 8 時半に断食を終了する時までには、呼吸もままならなくなっていた。」とある。このことから、下線部は、脳まひの症状である震えに襲われ、消耗しきった様子の説明であることがわかる。したがって、選択肢 c が正解である。なお、get the better of～は「～を打ち負かす」という意味で、比較的頻度が高い。これを知らなくても選択肢は選べるが、覚えておいた方がよい表現である。

(30) there is no reason to put themselves at risk の意味に最も近い選択肢を選ぶ問題。

- [選択肢] a) it is not reasonable to think Ramadan is dangerous
「ラマダーンは危険だと思うのは妥当ではない」
b) no one blames them for not fasting
「誰も彼らが断食をしないことを非難すべきではない」
c) they can't feel ashamed of their medical conditions
「彼らは自分の病状を恥じてはいけない。」
d) they don't have to fast for religious reasons
「彼らは宗教的な理由で断食行う必要はない」
e) they shouldn't die by tasting
「彼らは断食で死ぬべきではない」

there is no reason to put themselves at risk（「彼らは自らを危険にさらす理由はない。」）の文脈上の意味を問う問題である。次の 2 文で、Muslims fast so they can suffer a little. It is important not to die in the process.（「イスラム教徒はわずかに苦しむことができるようになると断食する。その過程で死なないことが重要である。」）と言っている。このことから、It is important not to die in the process. と there is no reason to put themselves at risk は同じ意味の文だと考えることができる。したがって、選択肢 e が正解である。

(31) 本文のラマダーンの説明と合致しない選択肢を選ぶ問題。

[選択肢] a) During Ramadan, Muslims can eat food after sunset.

「ラマダーンの間は、イスラム教徒は日没後食べものを食べることができる。」

b) Fasting in Ramadan lasts for thirty days.

「ラマダーンの断食は、30日間続く。」

c) If you are fasting during Ramdan, you cannot drink water before sunset.

「ラマダーンの間、断食している時には、日没前に水は飲めない。」

d) Ramadan always comes in summer.

「ラマダーンの時期は常に夏である。」

e) There are Muslims who are embarrassed because, for medical reasons, they cannot fast.

「健康面の理由で断食できないために気まずい思いをするイスラム教徒がいる。」

f) Through Ramadan, you can deepen your understanding of other people's suffering.

「ラマダーンを通して、他の人の苦しみの理解を深めることができる。」

a) : 第3段落最終文に I could eat whatever I wanted at sunset があるので、選択肢 a は本文と合致する。

b) : 第2段落最終文の Muslims celebrate for three days, because after thirty days of fasting, one day simply isn't enough から、断食期間が30日間であることがわかる。したがって、選択肢 b は本文と合致する。

c) : 第6段落の The next morning the water I drank tasted like poison. It felt so wrong to satisfy my thirst during the daylight hours. という描写から、ラマダーンの間、日が沈まない間は、水も飲んではいけないことがわかる。したがって、選択肢 c は本文と合致する。

d) : 第5段落で、Ramadan, which moves back ten days each year とある。このことから、ラマダーンは、毎年10日ずつ、生じる期間が前にずれていくことがわかる。したがって、ラマダーンは夏とは限らないので、選択肢 d が本文と合致しない。

e) : 第7段落、第1文で、I am not ashamed that I cannot fast, but I know many who are, even though they are excused for God's sake と言っている。who are は、I am not ashamed との対比を強調するために、who are ashamed の ashamed を省略して、肯定形の are を強調した表現である。この文から、「(病を患い)断食が免除されているが、恥じている多くの人がいる」ことがわかる。したがって、選択肢 e は本文と合致する。

f) : 第7段落で、Muslims fast so they can suffer a little. ~ those who can't should channel their devotion into charity. This will not only help you stay healthy but also will help someone who is genuinely suffering. (「イスラム教徒は、わずかに苦しめるようにと断食する。~、苦しむことができないものは、信仰心を慈善活動へと向けるべきだ。それにより、健康を維持できるのみならず、本当に苦しんで人を助けることになる。」)と述べている。この部分は、「ラマダーンを通して、人の苦しみの理解が深まる」ことを示唆している。したがって、選択肢 f は本文と合致する。

(32) 本文の内容と合致する選択肢を選ぶ問題。

- [選択肢] a) At school the author's teachers indicated their support for her religious belief by giving her candies.

「学校では、教師たちが、キャンディーを与えることで、著者の宗教的信仰を支持することを示した。」

- b) In America's Deep South the author saw a lot of people who disliked Muslims.

「アメリカのディープ・サウスでは、著者はイスラム教徒を嫌う多くの人々を見かけた。」

- c) The author is embarrassed because she cannot fast during Ramadan.

「著者は、ラマダーンの間、断食できず、気まずい思いをしている。」

- d) The author suggests that we should ask Muslims how hungry they are during Ramadan in order to keep them from starvation.

「イスラム教徒を飢えさせないために、ラマダーンの間、どれほど飢えているかイスラム教徒に尋ねるようにと、著者は提案している。」

- e) The author was at least 68 years old when she wrote this essay.

「著者は、このエッセイを書いた時には、少なくとも 68 歳になっていた。」

- f) The author's mother donated every year because the author failed in fasting every year.

「著者が、毎年、断食に失敗したために、著者の母やは毎年献金した。」

a) : 第 3 段落の、I would push their candy away and tell them not to push their beliefs on me.（「彼らがくれたキャンディーを払いのけ、私に彼らの信仰を押しつけないで欲しいと言った。」）という文から、教師のくれたキャンディーは、著者の信仰を支持するものではないことがわかる。したがって、選択肢 a は本文と合致しない。

b) : 第 5 段落に Deep South での出来事の描写がある。その段落で、We would spend all day on the street doing interview with the locals who weren't too fond of Muslims. という文があり、イスラム教徒をあまり好きでない地元民にインタビューしたことがわかる。その後の文で、I was hot, thirsty, and tired of bigotry.（「暑く、喉が渇き、偏見にうんざりしていた。」）という記述がある。(bigotry の意味は、注で示されている。) このことから、イスラム教徒を嫌う地元民が多くいたことは明らかである。従って、選択肢 b は本文と合致する。

c) : 第 7 段落第 1 文に、I am not ashamed that I cannot fast. という記述がある。したがって、選択肢 c は本文と合致しない。

d) : 本文に選択肢 d のような記述はない。

e) : 第 1 段落で、著者の初めて断食したのは 8 歳であったという記述がある。また、第 6 段落第 1 文で、30 年経った 2013 年に、断食の日々が終わりを告げたことが述べられている。この時点で、著者は 38 歳だったことがわかる。したがって、選択肢 e は本文と合致しない。

f) : 第 4 段落に、My mom has donated on my behalf every single year I have fasted, just in case it ever got to be too much and I had to give up.（「母は、断食に耐えられずに私が途中でやめてしまう場合に備えて、毎年、私のために献金してきた。」）とある。(in case SV～は「～する場合に備えて」という意味。) 実際に断食を止めてしまったわけではないので、選択肢 f は本文と合致しない。



お問い合わせは **0120-302-872**
<https://keishu-kai.jp/>